

## 避難時間推計シミュレーションの実施について

### 実施の目的

原子力災害時における、発電所から30km圏内の13町村の住民を30km圏外の広域避難所に避難するために、様々な交通手段や状況を想定し、避難に要する時間を推計することによって、あらかじめ避難時間を把握し、住民避難を円滑に実施するための具体策を関係機関と協議するための基礎資料とする。

## シミュレーションパターンについて

### バス避難とした避難時間を算出

避難パターン(3) × 基本パターン(標準4) = 12 パターン

12  
パターン

+

### 自家用車避難とした避難時間を算出

避難パターン	基本パターン	自家用車利用率	自主避難率	
<ul style="list-style-type: none"> <li>PAZ避難→UPZ避難</li> <li>PAZ避難→20km→30km</li> <li>PAZ→3セクタ避難</li> <li>→3セクタ避難</li> <li>→残りセクタ避難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準 4パターン</li> <li>[昼・夜] × [夏・冬]</li> <li>通行止め 3パターン</li> <li>当丸峠・積丹・海岸線</li> <li>観光ピーク2パターン</li> <li>夏(海)・冬(山)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>50%</li> <li>70%</li> <li>95%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20%</li> <li>40%</li> <li>60%</li> <li>100%</li> </ul>	
3パターン	×	9パターン	×	3パターン
		×	4パターン	=
				324 パターン

合計 336 パターン

※ シミュレーションパターンについては、有識者・道路管理者等の意見を反映

## 避難時間推計シミュレーション実施スケジュール

日 程	内 容
H25.3.28	有識者専門委員会でシミュレーション実施概要説明
H25.4月中旬	業者契約、シミュレーション業務開始
H25.7月末	シミュレーションの中間報告
H25.7月末	道路管理者等との意見交換(交通誘導箇所の決定)
H25.9月末	シミュレーション業務終了、報告書提出

## シミュレーション実施後の対応

- ・避難経路を考慮した休憩施設等の設定

経路上に休憩施設等を設定し、トイレ・飲料水・食料の提供、自動車への燃料補給や休憩施設等における災害情報の提供

- ・自家用車避難について

避難時間・経路・渋滞等の情報を、町村が作成する避難マニュアル等へ反映